

またもやディスクボルト折れる!!

そのとき、JR東海の対応は!?

マスコミの報道によれば、JR西日本は12月3日、山陽新幹線で100系電車のブレーキディスク締結ボルトが折れているのが見つかったと発表しました。そして、JR東海は、12月3日の夜からJR西日本編成のディスクボルトの一斉点検の指示を出しました。

何のための一斉点検が明かさないJR東海!!

ディスクボルトの一斉点検は12月3日からはじまったのですが、現場では何のために一斉点検をするのか一切明らかにしませんでした。

実際に作業する組合員等が、「どういふことで一斉点検をするのか」と、当直に問いただすと、当直の返答は「指令の指示で理由はわからない」というものでした。

指示を出す側は、「ボルトの一斉点検」ですむのかもしれませんが、実際に検査する側にとっては、「一斉点検」に至った経緯によって検査の着目点に大きな違いがあります。

JR東海に安全哲学はあるのか!?

現場で「指令の指示で理由はわからない」といっている時間に、すでにマスコミは「山陽新幹線『100系』1両ブレーキ壊れ走行か」と題して報じています。

JR西日本でボルトが折れる事故が発生したことも、それをプレス発表したこともわかっていながら、現場にはその情報を伝えない。いや、隠していると言わざるを得ません。

こうなると、何のための「一斉点検」なのか、お座なりの点検指示ととられても仕方がありません。いや、この会社に安全哲学はあるのかと疑わなければなりません。

安全のため情報開示を!!

私たちは、これまでもディスクボルト折損問題に関して解明要求などで会社に問題提起をしてきました。特に、協力会社（SEK）に依頼しているボルトの探傷検査による検査データとその解析の結果について情報を開示して議論を求めています。会社は一切応じようとしません。

これからも、新幹線の安全を確立するため闘いを強化しましょう!!